



2009 年度春学期卒業生

9月16日、2009年度春学期卒業式がおこなわれました。商学部の卒業生は26名（男子25名、女子1名）で、商学部チャペルにて卒業証書を受け取りました。



ゼミ(研究演習Ⅰ)募集の開始

商学部では第3年次に「研究演習Ⅰ」、第4年次に「研究演習Ⅱ」という少人数編成の講義が設けられています。これは、いわゆるゼミナールにあたるもので、教員と学生による膝を付き合わせた議論の場を提供するものです。すでに2年生に対する履修説明会は9月14、15日に開かれ、計450名程度の出席者がありました。11月5日には最終所属の確定が行われる予定です。

ゼミは、経営、会計、マーケティング、ファイナンス、ビジネス情報、国際ビジネスの6コースに大別され、所属ゼミの教員の研究分野によってコースが決定します。1年生の皆さんには、今のうちから様々な講義を受講して各コースの学問の特徴をつかみ、今後の学習計画に役立てることを期待します。



学術講演会の開催予定

11月と12月に、6つの商学部主催学術講演会が開催されます。いずれも、商経学部開設75周年記念学術講演会の一環として行われるものです。演題、講師と開催日時等は、つぎのとおりです。

“Merger and Acquisitions in Global Business Environment”

講師：Matthias Kipping氏 ヨーク大学
大学院教授
日時：2009年11月6日（金）第2時限
（11:10-12:40）
会場：B号館304号教室

「グローバル経済化で求められる人材 —関学OBとしてのメッセージ—

アドバイス—

講師：宮内 義彦氏 オリックス株式会社
社長・グループ CEO
日時：2009年11月13日（金）第3時限
（13:30-15:00）
会場：B号館304号教室



「グローバル経済下における企業経営 —「高質食品専門館」を目指す

阪食の成長戦略—

講師：千野 和利氏 株式会社阪食代表
取締役社長
日時：2009年12月4日（金）第4時限
（15:10-16:40）
会場：B号館101号教室

「現代社会における税理士の使命」

講師：池田 隼啓氏 日本税理士連合会
会長
日時：2009年12月7日（月）第4時限
（15:10-16:40）
会場：B号館304号教室

「グローバル化する経済と

公認会計士の役割」

講師：林 恭三氏 公認会計士、元日本
公認会計士協会近畿会会長
日時：2009年12月8日（火）第4時限
（15:10-16:40）
会場：B号館203号教室

「グローバル経済下における経営戦略

—ゼロックスに学ぶ—

講師：宮原 明氏 元富士ゼロックス株式
会社社長、現国際大学副理事長
日時：2009年12月10日（木）第3時限
（13:30-15:00）
会場：B号館203号教室

宮内・千野・池田・林・宮原各氏の講演会終了後、第2教授研究館1階・第1研究会室（予定）にて、講演者と学生との交歓会を開きます。参加希望者は前もって商学部事務室カウンターにて予約してください。



春学期単位認定

商学は実務や資格試験と密接なつながりを持つ学問です。そのため、商学部では、各種検定試験や資格試験にチャレンジし、合格した学生に対して、授業単位としての認定をおこなう制度を設けています。

2009年度の検定試験・各種資格試験の合格による単位認定申請は、のべ213件でした。これには、実用英語検定やTOEFL、TOEICをはじめとする英語やフランス語、ドイツ語などの検定、公認会計士試験、簿記検定試験、ファイナンシャル・プランニング技能士試験、システム・アドミニストレータ試験などの合格によるものが含まれます。こういった資格が、どの授業単位と対応しているのかは、「学習と履修の手引き（履修編）」に記載されています。これを参考にして、学習計画を見直してみるのも良いと思います。

なお、単位認定の申請にあたっては「単位認定願」への記入と合格証書が必要となりますのでご注意ください。



教員の著書・出版

海道 ノブチカ 教授

共編著『コーポレート・ガバナンスと
経営学 グローバリゼーション下
の変化と多様性』
(ミネルヴァ書房)

定価 2,940 円、2009 年 4 月 25 日付け出版

宮田 由紀夫 教授

著書『アメリカにおける大学の地域貢献
産学連携の事例研究』
(中央経済社)

定価 2,730 円、2009 年 7 月 15 日付け出版

留学および特別研究期間

<留学>

石淵順也准教授

期間：2009 年 9 月～2010 年 8 月

<特別研究期間>

伊藤正範准教授

期間：2009 年度秋学期

安田聡子准教授

期間：2009 年度秋学期



教員紹介



榊原 茂樹 教授

関学にお世話になって4年目ですが、教員生活は35年以上になります。光陰矢の如し、少年老い易く学成り難し、の心境です。専門分野は経営財務論と証券投資論です。両分野の連結環であるリスク資産の価格モデルの研究に取り組んでいます。人間何か一つのことを精通すると、その精通した何かを通して世の中の動きが良く理解できるようになるといわれますが、この点でも、日暮れて道遠しです。関学のスクール・モットーであるMastery for Serviceの域にもまだまだですね。皆さんも、ゼミの勉強、クラブ活動、あるいは地域活動の中で、何か一つ Yes, I can と胸を張って言えるものを身につけられるような、充実した大学生活を送ってください。



森本 達夫 教授

フランス語と人文演習を担当しています。25才の時に、現代フランス劇作家ルネ・ド・オバルディア作の劇の翻訳劇『ササフラスの枝にそよぐ風』（これは西部劇のパロディーの喜劇です）を京都で見ることがありましたが、これにすっかり魅了されてしまい、以来この作家の追っかけをしています。〈フランス〉〈劇〉〈笑い〉に興味がある人は拙論「現代演劇と笑い」（『はじめて学ぶフランス』関西学院大学出版会、pp.231-248）をお読み下されば幸いです。現代の日本の作家では、有吉佐和子、宮尾登美子、桐野夏生、角田光代などを経て、現在ハマっているのは、『阪急電車』、『3匹のおっさん』などを発表している有川浩です。

